

「受講生NEWS」電子版 スタート

—発信力を強化、会員交流の機会拡大—

信州大学市民開放授業の「受講生NEWS」(親睦会発行)は、5月1日から電子版の発信を始めた。「NEWS」は、これまで、「ミニ新聞」を掲示板に掲示、一部は受講生の集まりなどで配っていた。電子版は、同じものをネット上に載せる。インターネットを使う市民受講生が増えていることに対応し、大学の協力で電子版が可能になった。

会員間のコミュニケーション不足が、親睦会活動の最大の悩みだったが、電子版の登場で情報に接する機会が拡大強化されそうだ。

<受講生NEWS電子版>

▽内容 「受講生NEWS」は、親睦会が会員相互の交流の一助にと、昨年5月に創刊したA4判の「ミニ新聞」。電子版は「ミニ新聞」と同じ内容。

現在、電子版は最新発行の11号～8号をアップ。今後、新たな号を発行ごとに、更新する。

▽検索方法 信州大学市民開放授業のホームページ→受講生親睦会→受講生NEWS

▽NEWS募集 親睦会会員や受講生にかかわる情報などをお寄せください。「取材」させていただくこともあります。ご協力をお願いいたします。(親睦会NEWS担当の飯田)

★★開放授業の魅力語る 信大発SBCラジオ

受講生の稲田晃さん(77)と大塚勉教授が、4月14日放送のSBCラジオに登場。市民開放授業を紹介した。番組「坂ちゃんのずくだせえぶりでい」のひとつま。そのやりとりの一部は一。

♪♪♪(軽快な音楽)

—木村麻衣子さん(SBCラジオカー)「私はいま、桜が6分咲きの信大松本キャンパスにいます。お昼休みで学生が広げる弁当の香りがしています」「さっそく市民開放授業について教えてください」

—大塚教授「正規の学生とともにどなたでも受講できるのが市民開放授業です」

—稲田さん「受講は6年目。軽い脳溢血に倒れリハビリ中に、新聞記事で(市民開放授業を)知り参加しました」

—大塚教授「900もの授業を市民に公開している。これだけの規模は全国の大学でも珍しい」

—稲田さん「最初は脳に関する授業、近年は英語学概論を勉強しています。変なおじさんでしょうが、今の学生の英語の上手なものにはびっくりしています」

—大塚教授「人生経験を重ねたみなさんが、意欲的に受講してくれる。社会人と接する機会の少ない学生の力にもなっています」

(放送は0時20分から5分弱)